



沢島

ひでたか通信 Vol.37

区議会公明党の提案で医療用ウィッグ、人工乳房の助成が実現へ！

**学校建替え時の災害避難所を確保へ！
補聴器購入助成金を増額に！**

第1回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和6年2月21日（趣意）

防 災

ペットの二次避難について

質問 ペットの災害に備えた対策や体制整備は大変重要です。とくに防災協定を結んでいる専門学校との連携について、今後の方向性を教えて下さい。

答弁（区長）本区では、区内のヤマザキ動物専門学校、専門学校ビジヨナリーアーツ東京校と協定を締結し、同伴されたペットの世話を代行、相談及び助言、診察の補助、ペット用備蓄の配給支援をご協力いただきます。

加えて、ヤマザキ動物専門学校では、避難所に同伴されたペットの一時預かりもご支援いただくものです。

今後も、二つの専門学校と連携して、同行避難に関する理解の促進、飼い主が備えるべきことの周知啓発に努めてまいります。



学校建替え時の避難所体制について

質問 広尾中学校、松濤中学校、神南小学校の代替避難所について伺います。

学校施設以外の安全で安心な代替避難所の確保は、地域の民間企業など連携も含め、物資供給の受け渡し場所にもなり得る施設が必要です。どのように検討されているか、お考えをお示し下さい。

またできるだけ早い段階で地域への周知・徹底を進めていただけるようお願いしたいと思っています。

答弁（区長）学校の建て替え期間中は、仮校舎への避難が困難な方が既存校に近い別の施設へ避難が出来るよう、区有施設だけではなく、民間企業の施設も視野に入れ、幅広く代替避難所の検討を行っているところです。

地域への説明については、学校の建て替え計画や工事の説明会、地域の防災訓練などの機会を捉え、できるだけ早期にご説明出来るよう進めてまいります。

子育て支援

特別な支援が必要な児童への支援について

質問 これまで「未就学児通所施設巡回訪問相談支援」で保育園・幼稚園等への巡回を行ない、寄り添う支援を進めました。

今後多様化する子どもやそのご家族へのサポート体制の強化が重要です。どのような専門的支援が行われたか進捗を教えてください。

答弁（区長）現在、保育園・幼稚園、小・中学校や放課後クラブに発達支援の専門家が訪問し、集団活動を苦手とする子どもに対して、集団適応を支援しています。

一貫性と継続性のある支援を行うためには、本人を中心に、家庭と保育所・学校などがチームで療育を支えていくことが重要です。

保護者と訪問先のコミュニケーションを促進し、子どもをチームで支援するための具体的な方策を協働して実施しています。

今後は、教育センターや学校現場との連携を一層強化し、就学前から就学以降も、切れ目のない支援を充実させてまいります。

福 祉

補聴器助成の拡充について

質問 現在渋谷区では、管理医療

機器として認定された補聴器を購入した場合に補聴器の一部助成を行っています。

これまでも昨年の第1回定例会、また第4回定例会等で、我が会派より補聴器助成の拡充について提案をさせていただきました。来年度予算編成に組み込んで頂き、大変感謝申し上げます。令和6年度からの拡充内容を伺います。

答弁（区長）これまで非課税者に限定していた補聴器購入費の助成対象者について、東京都のシルバークラスの基準に順じ、課税者の中でも低所得者は助成を受けられるよう対象範囲を広げます。

また、助成上限額については、実際に購入されている補聴器の実績をふまえ金額を増額します。制度拡充をきっかけに、より多くの高齢者に活用いただけるよう準備を進めてまいります。



デジタルバイド解消事業について

質問 我が会派が提案した「デジタルバイド解消事業」も、スマートの無償貸与とスマホ教室からスタートし、デジタル活用支援員の拡充、またデジタル活用支援員の派遣、マイナンバーカードの申請窓口や、ハチペイの支援に

も対応していただいています。

災害時の情報弱者を無くすためにスタートした事業です。年頭に起きた能登半島地震を新たな教訓として、防災アプリの講習会の再度開催や、新たに、各キャリアの安否確認機能の使い方の講習会など開催していただきたいと考えます。

答弁（区長）現在開催しているスマートフォン講座では、基本操作やコミュニケーションなど初歩的な使い方方の講座に人気が集まり、防災がメインテーマの講座は申込みが少ない状態でした。

そのため、来月より、全ての講座のテキストに必ず防災のコンテンツを追加して、どの講座を受講しても防災に関する知識が身につくようにします。

また、今後は防災アプリだけでなく、キャリアごとの安否確認機能の紹介も盛り込むことを検討してまいります。

生活

「ハチペイ」における経済負担軽減について

質問 我が会派が提案した「プレミアム付きハチペイデジタル商品券の販売」、「ハチペイ30%還元キャンペーン」など、区民と中小事業者や区内店舗等に寄り添う支援策を講じてきました。

また現在2月1日～3月29日まで「プレミアム付きハチペイ

デジタル商品券第2弾の販売」を行っています。

物価高騰に苦しむ区民及び区内事業者、区内店舗等を支援するため、令和6年度もハチペイを活用したプレミアム付デジタル商品券販売の第3弾やキャンペーンの実施などの引き続き、支援策を検討して頂きたいと思えます。

答弁（区長）来年度も、議員ご提案のハチペイデジタル商品券などの様々なキャンペーンを実施するための予算を計上しています。物価高騰の状況やハチペイの利用状況を見ながら実施時期や内容について適宜適切に検討し、引き続き区内産業と区民生活の支援に取り組んでまいります。



給付申請のオンライン導入について

質問 給付金等の支給は、現在、郵送や窓口による申請を導入しています。一方、オンライン等を活用して利便性を高め、できる限り速やかに申請・支給を行うことが望まれます。

今後、低所得者・非課税世帯などへの給付や所得税・住民税の定額減税等にオンライン等の導入を検討してはいかがでしょうか。

答弁（区長）来年度に実施を予定

している低所得者・非課税世帯などへの給付や所得税・住民税の定額減税等の給付事務について、申請者の利便性や費用対効果等を踏まえながらオンライン申請の導入を検討してまいります。

健康

子宮頸がんワクチンの男性接種助成について

質問 昨年の第一回定例会で我が会派より提案した子宮頸がん（HPV）ワクチンの男性接種助成の予算が来年度盛り込まれ、早期の対応に感謝いたします。

男女共の接種が進みHPV感染のリスクを劇的に減らすことが出来ると考えます。

今後の対応と周知方法について教えてください。

答弁（区長）小学6年生から高校1年生に相当する年齢を対象に、ワクチンを接種する機会を確保し、接種費用を全額補助することで、疾病の予防と集団免疫の獲得を図ります。

なお、本事業については区の広報媒体に加え協力医療機関を通じて周知してまいりたいと考えています。

医療用ウィッグ、人工乳房の助成について

質問 我が会派は昨年の第一回定例会でがん治療中の方へのウィッグ等購入費用助成制度を

提案しました。

来年度より助成が開始されることになり、利用を希望されている方がより良い療養生活が送れる一助になればと思います。

今回の助成は医療用ウィッグ・人工乳房の購入助成になります。一人でも多くの方にご利用いただけるよう、丁寧な情報と周知が必要です。助成内容と周知方法について伺います。

答弁（区長）助成内容については、対象品1点当たり10万円を上限として、1人につき2点まで助成いたします。

事業の案内については、区ニュースやウェブサイト等により、丁寧な周知に努めます。

緑内障自己チェック診断表について

質問 平成27年第4回定例会で我が会派より提案し、国民健康保険の「特定健診」のお知らせの中に「緑内障の自己チェックシート」の同封を実施していただきました。

しかし、現在は同封されておらず、再度、自己チェック診断表の配布が区民の健康サポートに必要であると考えます。

答弁（区長）緑内障は、治療が遅れると失明にもつながる病気です。そこで、区ウェブサイトに、自己チェック診断表を掲載するなど、疾病の啓発を進めるとともに、併せて、診断表の再度配布についても検討してまいります。

渋谷区政へのご意見、ご要望など、なんでもお気軽にご相談ください!!

さわしま 英隆

渋谷区議会議員

沢島ひでたか

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036
FAX. 03-5458-4962

寄せられたご相談に
全力で対応致します!!

